

日比野輝寛 いひの 舊高須藩士。天保九年四月美濃國下石津郡高須村
 生れ、明治四十五年四月、二十二日歿（一八六一一九三）。舊姓原田、通稱
 倫次郎、とよ 潔治。號權成、維城、藤涼輝寛。秦世壽、杉涼杉養、學ぶ。
 文久二年渡清。翌年録詩塾を開設、泊園書院に入る。四年國事を奔走。
 慶應四年名士白屋の明倫堂訓導手傳、のち教授。維新後八角人を経く大
 藏入省、明治十一年退官して翌年京都へ移住、文雅の生活を送る。
 著書「文久二年上海日記」（内題「日比野輝寛」）、（納富介次郎）「文久二年上海日記」外
 山軍治解説・日比野丈夫校訂、昭和二十一年五月十日大阪・全國書
 房）刊。

